

京っクラブ3月宿泊事業の報告を分けて報告させていただきます。

京っこ3月宿泊事業

歌って、踊って、ドンパッパ！！

3月19日(土) ~ 3月20日(日)

IN 京都市立花脊山の家



| | 午前 | 午後 | 夜 |
|-----|--------------------|----------------------|----------|
| 1日目 | ハイキング前半 自然の素材集め | ハイキング後半 レクリエーション | キャンプファイア |
| 2日目 | そうじ、野外炊飯 ソリ滑り | 思い出作りタイム 施設を出発、解散 | |

一日目：小春日和のもとキャンプは開催されました。北大路にて全体集合し、そこからバスにて鞍馬まで向かいました。鞍馬から花脊山の家まで歩いていきました。道中、二日目の『思い出タイム』で作品を作るための素材集めをしながら進みました。序盤まではポカポカしていたのですが、進むにつれ雪が増えて峠を越える頃には一面雪景色になっていました。途中で昼食を済ませ、夕方前には到着できました。思ったより皆元気で入所後も元気にレクリエーションをしました。夕食は食堂がハイキング形式の為、目を輝かせて喜んでいました。夜はキャンプファイアをしました。一年間知り合っていた友達同士お互いに盛り上げ、楽しみ合っていました。就寝前までワイワイとにぎやかさは収まりませんでした。



二日目：起床からテンション高く、元気よく「おはよう!!」が棟内響いていました。朝から野外炊飯で『パックドッグ』を作りました。お手軽料理でもあり、皆率先して取り組み、笑顔いっぱいにして美味しく食べていました。その後、泊まった宿舎の掃除をし、思い出づくりの素材集めのため周辺散策を行いました。しかし、周りは雪一面でソリがしたいという強い要望からソリ遊びをしました。誰もが雪遊び仕様の服装ではなく、ズブズブになりながらもワイワイキャッキヤと歓声をあげながら滑っては転んでいました。昼食を取り、午後からは京っこの一番思い出に残るワンシーンを箱の中に自然のものを使って作る作業を行いました。皆思い残る箇所は違い、色々と工夫して作っていました。何より集中力がスゴく時間が短いと意見が出るほど、この活動に力を注いでいました。気が付けば出発の時間が迫ってきたので、バスに乗り込み施設をあとにしました。帰りのバス内は皆ぐったりしていました。



<キャンプ総括>

一泊二日とキャンプとしては短い期間ですが、本来京っこは日帰りで活動時間そのものが短いため、シーズンに行っている一泊二日より長く感じました。そして、参加者がもっと長く活動をしたい!!と切望されていたこともあり、非常に濃厚なキャンプでした。4月から京っこを始め、過程は違えども皆明らかに成長されており、その中でも『相手を想う気持ち』から発生する言葉や行動にはビックリしました。自分のことだけでなく、自然とグループの友達の分まで行ったり、片付けを率先して行ったりしている姿は素晴らしい一言です。そしてそういった事が活動を通して伝わっているのだと嬉しい気持ちになりました。衣食住を共にすることで新たな感心や課題が見えてきました。活動だけでは見えない部分があるのだな、と気付かされこの発見を是非とも次年度に繋げていきたいと思いました。

(竹中 哲郎)